

(麦)

福岡大城農業協同組合
南筑後普及指導センター

1 生育概況

1月までは低温傾向で、麦の生育は遅れていました。しかし、2月の気温は高く適度な降雨もあったため、草丈は平年より短いですが、茎数は平年よりやや多くなっています。

茎立ち期は、下記のとおりと思われます。昨年より1週間ほど遅れているため、今後の気温が平年並みの場合、出穂は遅れると考えられます。

1 1月下旬播種	シロガネコムギ	3月1日頃
	ミナミノカオリ	3月5日頃

2 麦踏み・土入れ

麦踏みは、茎が立ってきたので、ひかえて下さい。

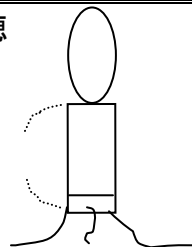
土入れは、茎立ち期（節間の見え始め）後10日頃まで実施できます。排水対策や雑草防除、倒伏防止の効果が大きく、増収につながるので、下枠を参考に土入れを実施しましょう。

<茎立ち期の判定>

草丈の最も長い茎を選び、その茎の根もと部分の葉鞘をはいでいきます。すると、中に節が見えます。その節間がおおむね2cmになる時期です。

幼穂

節
2cm
根



3 雑草対策

ヤエムグラ、カラスノエンドウ等の広葉雑草が見られる場合、アクチノール乳剤を使用することができます。処理時期が遅れないように散布します。

他作物にかからないよう、注意して散布してください。

(10aあたり)

対象雑草	除草剤名	使用時期	使用量
広葉雑草	アクチノール乳剤	3月中旬まで (雑草生育初期)	150～ 200ml

注：効果安定のために、液量は10aあたり100リットル使用します。

4 排水対策

溝さらえを十分行い、雨水が停滞しないよう排水溝の整備を徹底しましょう。

農薬の安全使用と飛散防止対策を徹底しましょう!